

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線 42354
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成27年11月26日

リコール届出番号	3702	リコール開始日	平成27年11月27日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 取締役社長 八郷 隆弘		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-112010	
不具合の部位（部品名）	①②原動機（点火コイル）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>① 点火コイル内部の電気ノイズを除去する雑防抵抗の構造が不適切なため、点火時の通電によるアーク放電により、当該抵抗端末部が断線するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プラグシールが劣化して放電し、点火コイルの出力が不足してエンジン不調となり、エンジン警告灯が点灯し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。</p> <p>② 点火コイル内部の電気ノイズを除去する雑防抵抗の構造が不適切なため、一定車速での走行時に大きなアクセルペダル操作を繰り返すと、点火時の通電によるアーク放電により、当該抵抗端末部が断線するものがある。そのため、点火コイルの出力が不足してエンジン不調となり、エンジン警告灯が点灯するおそれがある。また、点火時に発生するノイズによりエンジン制御コンピュータが正しく制御できず、エンジンが停止するおそれがある。</p>			
改善措置の内容	<p>① 点火コイルを対策品と交換するとともに、点火プラグを新品と交換する。</p> <p>② 全車両、点火コイルを対策品と交換する。</p>			
不具合件数	①②0件	事故の有無	①②無し	
発見の動機	社内点検による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：使用者を全て把握していることから、周知のための措置はとらない。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.3702のステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	DBA-JH1	「N-WGN CUSTOM」	JH1-2027713～JH1-2027717 平成26年9月1日	2	②
	DBA-JG1	「N-ONE」	JG1-1106523 平成26年8月4日	1	①
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成26年8月4日～平成26年9月1日	(計3台)	

① 1台
 ② 2台

(備考)

本件は、平成27年9月3日付け、届出番号「3630」にてリコール届出を行ったものであるが、対象車両の選定に一部誤りがあったことが判明したため、対象車両を追加して届出するものです。

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。